

令和4年度 第3回帯広市社会教育委員会議 議事要旨

- 1 日 時 令和4年11月11日(金) 15:00~17:00
- 2 会 場 市民活動プラザ六中 3階 第一会議室
- 3 出席委員 新川 和範、卯月 道彦、鳴海 亮、松田 信幸、池田 健一、岸田 智子、川岸 仁、野原 一行、久保田 博己、重田 裕亮、金谷 洋子
(以上11名、敬称略)
- 4 事務局 生涯学習文化課長 藤原 理恵子、百年記念館長 山原 敏朗、生涯学習文化課生涯学習係長 大橋 由幾、生涯学習文化課生涯学習係主任 米林 史哲、生涯学習文化課生涯学習係係員 土田 百花
(以上5名)
- 5 講 師 地域子育てネットすくさぼ 代表 大澤 浩介 氏
- 6 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 報告
 - ・令和4年度 北海道永年勤続功労社会教育委員表彰盾授与
受賞者：松田 信幸 委員
 - ・「備忘(依田勉三自筆日記)」の帯広市指定文化財の指定について
 - ・北海道社会教育研究大会(留萌大会)の出席報告
 - ・その他報告
 - (3) 議事 調査・研究について
 - ・講話
 - ・ボランティア体験会場のセッティング、子どもたちの出迎え、勉強会の見学を通じた交流等
 - (4) 閉会

7 議事要旨

- (1) 「備忘(依田勉三自筆日記)」の帯広市指定文化財の指定について

十勝開拓の先駆者として知られる依田勉三の自筆日記について、帯広市指定文化財の指定された旨を報告。地域開拓の先駆者が自ら活動を詳らかに記している点、晩成社の活動を通じて当該期の地域の実態をうかがい知ることができる点で重要であることを説明。

〈意見・質問なし〉

(2) 社会教育委員長等研修会の出席報告

令和4年10月14日(金)にオンライン開催された第61回北海道社会教育研究大会に、池田委員と共に参加。今回の研究主題は「社会教育がもたらす地域づくり」というもので、午前中に講演を聞き、午後は分科会に分かれて各市町村の取り組みを伝えあった。特に印象的だったお話は、広島県にあるつくば公民館の取り組み。「公民館をイメージチェンジする」をテーマに、地元住民参加型の事業を継続し、約10年で年間の事業参加者数を200人から4500人に増加させたそう。事業計画のポイントとして、完璧なものを求めるのではなく、不完全なものでもまずはチャレンジし、改良していくことが大事とのこと。

〈意見・質問なし〉

(3) 調査・研究について

【講話】

〈大澤氏より説明〉

○副委員長

不登校の学習支援ニーズはどのくらいあるのか。

○講師

どのくらい学校に通わなければ不登校になる、という線引きが難しいが、実感としてはかなり希望者はいる。

○副委員長

様々な教育の仕方があるが、通信制の教育もサポートするのか。

○講師

オンライン学習支援は初めて間もない。中学時代学校に行っておらず、現在は通信制高校に通っている子がおり、大学への進学を希望している。

○委員長

すくさぼの学習支援に加え、他の不登校支援の団体と重複して支援を受けている子はいらぬのか。

○講師

学習支援の場は少ないが、居場所づくりを行っている団体は沢山あり、「輪〜む」に載せている。その効果もあり、重複してそこに参加している子は増えてきた。

〈質疑応答終了後、ボランティア参加〉

以上